

ヒバラDX戦略

1. はじめに

当社は、「多様化する市場ニーズをつかみ、時代に合った柔軟な生産システムを創造し、工業塗装分野へ機能的なソフトウェアと革新的なテクノロジーを提供する事で、社員の物心両面の幸せを追求し社会に貢献する」の経営理念のもと、工業塗装業界内においては、いち早くデジタル技術を活用し、業務の合理化・省力化を積極的に推進して来ました。今日では、その活用は社内に留まらず、自ら開発したシステムをソリューションとしてお客様に販売するなど、デジタル化による業務改革は一定の成果を上げてきました。

しなしながら、会社を取り巻く環境が絶えず変化して行く中、今般の社会情勢は当社経営にも予断を許さない状況であり、これまで以上にデジタル技術の活用によるイノベーションが重要となっています。ここに、改めて「ヒバラDX戦略」を宣言し、当社及び業界のイノベーション実現に向けてDXを推進して参ります。

2. ヒバラDX戦略

「ヒバラDX戦略」では、デジタル技術を活用・駆使することで、業務改革と事業の構造改革を進めます。

(1) 社内DX（スマート工場）推進

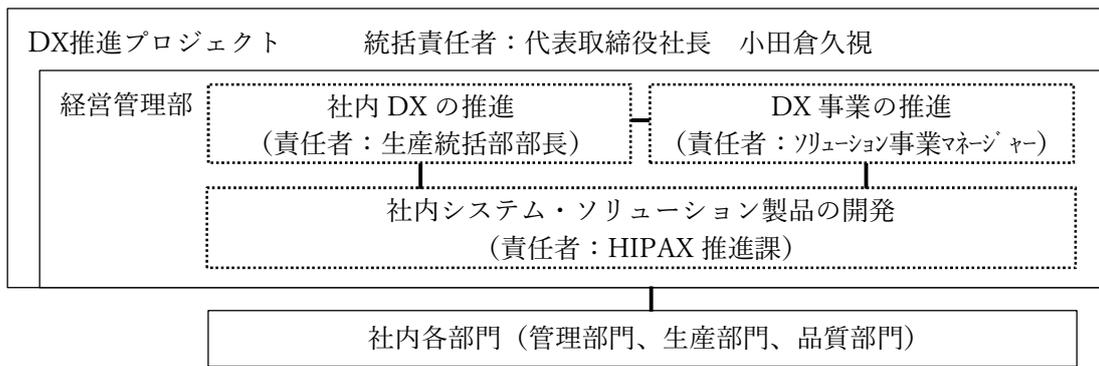
- ① 「生産管理システム」「IoT設備監視システム」「No-code Database」等、既存システムの継続的な機能拡充を進める他、蓄積データの利用など、活用範囲を広げDXを推進します。
- ② 今後は、AIを活用したロボット塗装や品質検査など、生産プロセスのデジタル化をより推進し、工業塗装工場のスマート化をめざします。

(2) DX事業（ソリューション事業）の推進

社内DX推進により得た成果をブラッシュアップして製品化、お客様のDXを推進するソリューションとして提供して参ります。本ソリューション事業は、新たなビジネス領域として業容の拡大をめざします。

3. 推進体制

「DX推進プロジェクト」を2023年4月1日付けで発足します。
代表取締役を統括責任者とし、経営管理部内に実行部隊を配置してDXを推進して行きます。



4. 環境整備

(1) 人材の確保と育成

人材の確保と育成は、重要課題の一つであり、計画的な人員増強を図ると共に、幅広い業務知識・デジタル技術の取得を目的に社内外での教育を推進します。特に、DX推進において必要と思われる「柔軟な発想とチャレンジ精神をもった人材」の育成に注力して行きます。

(2) 環境整備

生産管理システム、IoT設備監視システム等の従来システムへの投資に対し、今後は、下記のインフラ整備、及び、生産プロセス・検査プロセスのDXを推進するハードウェア・ソフトウェア開発の投資を強化して行きます。

- ① 開発棟及びラボの新設（ネットワークインフラ、機器・設備を含む）
- ② ハードウェア・ソフトウェアの開発環境整備

5. DX推進指標

(1) 社内DX（スマート工場）の推進

- ① デジタル化プロセスの実証数
- ② 実業務に適用したデジタル化プロセス数
- ③ 従業員一人当たりの労働生産性

(2) DX事業（ソリューション事業）の推進

- ① ソリューションメニューの拡充
- ② DX事業の受注高及び受注高比率

6. 情報発信

「ヒバラDX戦略」の状況は、当社コーポレートサイト (<https://kougyoutosou.com/>) の「新着情報」やメディア等を介して、随時、情報発信して参ります。